



鴻巣西中通信

学校だより No.9

学校教育目標 「心豊かで たくましい 西中生」

公式ホームページ <https://konishi-j-konosu.edumap.jp/>

鴻巣市立鴻巣西中学校

鴻巣市大間1161番地

令和6年1月9日

「ぶっ倒れるまで勉強した人？」

明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、少々過激な題名は私が中学2年生の時、英語担当で学年主任でもあったM先生の学年末テストが終わった直後におっしゃった言葉です。私は、まさかそんなやつはいないだろう、と高をくくっていたところ、机に伏せていたS君が、突然、がばっと起き上がり堂々と右手を高々と挙げたのです。S君とは同じ小学校だったこともあり、学力も自分と同じぐらいと思っていた私は内心「まさかあのS君が!」と、意表を突かれた感じでした。その後、S君はぐんぐん実力を伸ばし、1年後、県内有数の進学校に入学しました。

話は変わって、今テレビ番組等で何かと「東大」（東京大学）の現役生や卒業生がもてはやされています。確かに、日本で入学するのが一番難しい大学と言え、誰もが「東大」と答えると思います。そこで、今回はその昔、東大を目指した高校生の話を紹介します。

（「俺の井上陽水」 富澤一誠 旺文社文庫 1983年11月25日 初版）

富澤一誠氏は、音楽評論家で現在、尚美学園大学副学長です。その富澤氏の高校時代、昭和40年頃の話です。長野県の進学校に入学した富澤氏、東大を目指し1年生から猛勉強、ついに学年2番となるも、どうしても1番になれない悔しさに……続きは以下のとおりです。（中略あり）

ぼくはさらに勉強時間を伸ばした。その結果、平日で八時間、休日で十六時間になった。ちなみに平日のスケジュールは五時に帰ってきて少し休んで五時半から七時半まで勉強。そして八時まで休み。また、八時から深夜の二時まで勉強。起床は朝七時。これが、月曜から金曜まで続いた。休日は、朝八時に起きて朝食を食べて九時から深夜三時までブツ續けての勉強。その間に、二時間空けて昼食と夕食と休み時間があつた。しかし、二番まではとれるのだが、どうしても一番だけはとれなかつた。「畜生！ こんな馬鹿なことがあつてたまるか」と自分に鞭打ち元氣張つた。そんな猛勉強を一年も続けたある日、生物の時間にクラッ、クラッとめまいを覚えたかと思うと貧血を起こしてパタン、キューと倒れ担架で保健室へと運ばれてしまった。気がつくやうに保健医の先生がいて、しみじみとこんなことを言うのだった。「あなたね、勉強するのはいいことだけれども、少しは自分の体を心配しなさいよ。あなた聞くとところによると学年で二番だつていうじゃない。二番の人がどうして。あなたに、はつきり言つときますけどもね。このままのことを續けていたら、死ぬかもしれないわよ。私は責任持てないわよ。」最初のうち、ぼくは、なにを言つてるんだ、人の気もしらないでよく言うよ。ぼくはどうしても1番になりてえんだよと聞いていながつたが、最後に「死ぬ」と言われてぼくはガーンとハンマーで力いっぱい後頭部を殴られたやうな衝撃を受けた。

……その後は、生活を見直した富澤氏ですが、見事に現役で東大に合格、次は歌手を目指すことに……。

今、全国の受験生が必死に志望校合格目指してそれこそ目の色変えて猛勉強している所だと思います。ただし、試験日を目の前にして体調を崩したり感染症に罹つてしまつたりしたら、入試当日実力を発揮できません。それでなくとも緊張するのが当たり前です。ここまで来たら「ムリ ムラ ムダ」なく、効率よく進めることです。家だと、携帯電話・スマートフォン・ゲーム・テレビ・マンガ本・お菓子等誘惑がたっさんあります。たまには、公共の図書館や公民館で勉強するのもおすすめですが、感染症もあるので予防対策が必要です。

かつてこんなキャッチコピーがありました。「人生で いちばん応援してもらえるのは 受験のときかもしれない」 受験生の保護者の皆様、気を遣い出費も重なる時期ですが心配なことは遠慮無くご相談ください。

私事ですが、大学生の頃、アルバイトしていた東京のとあるレストランに、東大卒で証券会社に勤めているお子さんのいるパートの女性がいました。その女性に、私が「教員になるのが夢です」と言うと、「そう、島の小さな学校の先生になれるといいね」といつてくれたのを思い出します。

（校長 橋本 浩）